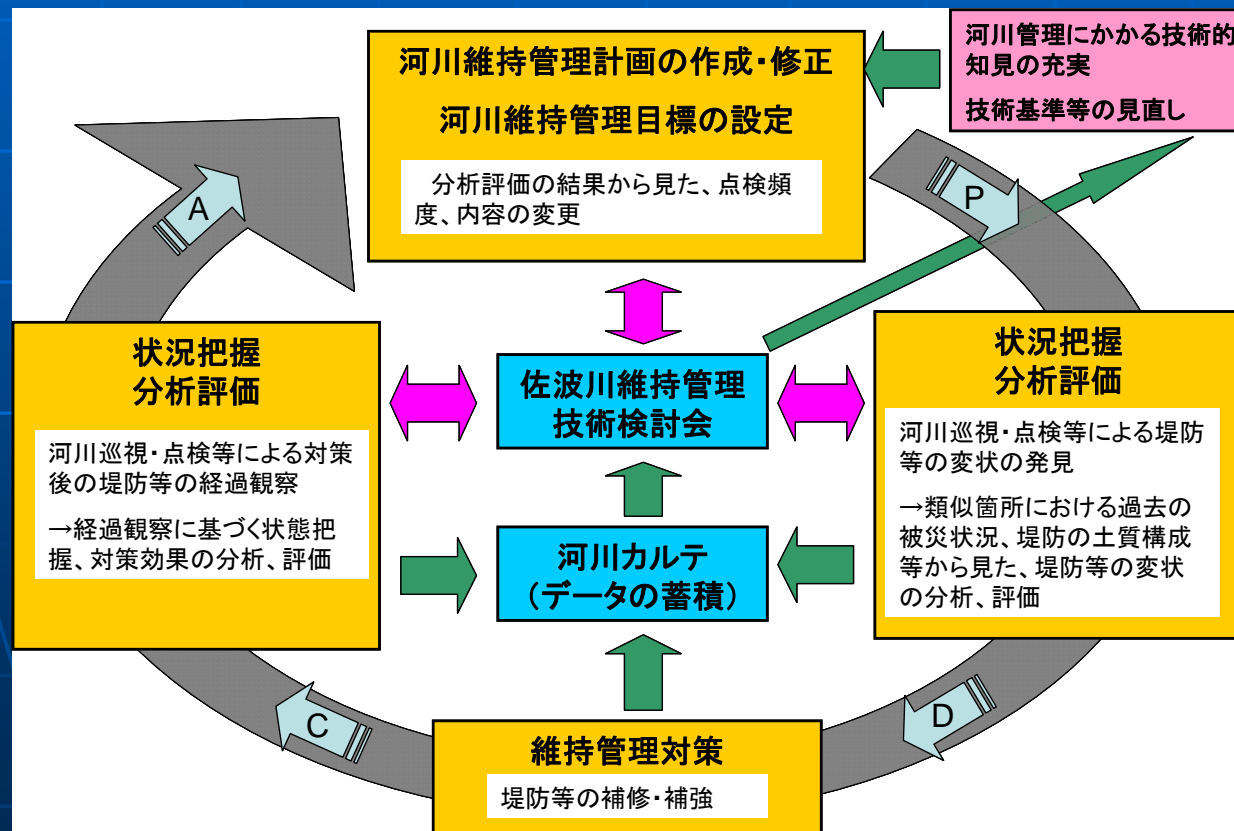


河川維持管理計画<佐波川>【国管理区間】

- ・「河川維持管理計画<佐波川>」は、河川の維持管理の目標を定めるとともに、その達成のために必要な対策及び河川の状態把握方法等について具体的な内容を定める
- ・巡視・点検・調査による状況把握・維持補修を行い、これらの実施内容を分析・評価し、得られた知見をフィードバックするPDCAサイクル型の維持管理を実施する
- ・佐波川の河川特性を踏まえた「河川維持管理計画<佐波川>」となる様充実させていく



サイクル型維持管理のイメージ

佐波川における河川管理上留意すべき河道特性

堰改築に伴う河床変動把握

佐波川には15箇所の堰が存在し、多くは河積阻害となっており、今後改築が必要である。堰改築に伴って河床が変動する恐れがあるためモニタリングを行う必要がある



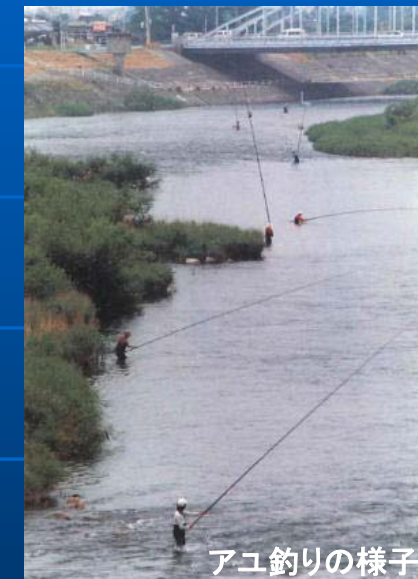
河道内樹木対策

河道内の樹木は、洪水流下を阻害したり、流木化する恐れがある。継続的に樹木伐採を行っているが、今後も生物等に配慮しつつ計画的な伐採を行う必要がある



動植物の生息・生育の保全

河川維持管理にあたっては、動植物の生息調査や生育環境等の維持に十分配慮する必要がある



河川管理施設・許可工作物の老朽化

佐波川国管理区間には、河川管理施設(樋門・樋管)が20箇所設置されているが、経年的な劣化・老朽化により機能の低下が懸念される。定期的な巡視・点検を実施し、計画的に維持修繕等を行う必要がある

佐波川の維持管理目標

1. 河道流下断面の確保

- (1) 河道流下断面の確保・・・現況河道断面又は今後5年間で実施する河川整備（樹木伐採、河床掘削等）後の河道断面を維持する。断面を著しく阻害している場合は河床掘削等を行う。
- (2) 堤防の高さ・形状の維持・・・定期的な測量結果をもとにその変化を把握。巡視や点検等により、沈下・法崩れ・陥没等の変状が認められた場合は補修等の必要な措置を講じる

2. 施設の機能維持

- (1) 河道（河床低下・洗掘）・・・施設の基礎周辺の河床高の変化を把握。洗掘により施設に明らかに支障があると判断した場合は必要な対策を実施する
- (2) 堤防・・・・・・・・・・・・堤防にクラック、わだち、裸地化等の変状がみられ、堤防の機能に重大な支障をもたらすと判断した場合、必要な対策を実施する
- (3) 護岸、根固工等・・・・・・・・護岸等に機能低下の恐れがある変状が確認され重大な支障が生じると判断した場合、必要な対策を実施する

3. 河川区域等適正な利用

河川区域等の適正な利用が図られるよう、河川の状態把握と事案への迅速な処理に努める

4. 河川環境の整備と保全

佐波川の良い河川環境が保全されるよう、適切に河川環境の維持管理を行う。

河川の状態把握と維持管理対策

河川の状態把握

(1) 基本データの収集

- ・水文・水理等観測
- ・測量(縦横断測量、平面測量)
- ・河道の基本データ(河床材料調査等) など

(2) 堤防点検のための環境整備

- ・堤防除草(堤防監視の条件整備) など

(3) 河川巡視

- ・平常時の河川巡視
- ・出水時の河川巡視
など



(4) 点検

- ・出水期前、台風期、出水中、出水後
- ・地震後の点検
- ・親水施設等の点検
など

(5) 河川カルテ

(6) 河川の状態把握の分析・評価

維持管理対策

(1) 河道の維持管理対策

- ・河道流下断面の確保・河床低下対策
- ・河岸の対策、樹木の対策

(2) 施設の維持管理対策

- ・堤防、霞堤、護岸、根固工、水制工、樋門等

(3) 河川区域等の維持管理対策

- ・河川区域の維持管理
- ・河川保全区域の維持管理
- ・不法行為への対策

(4) 河川の適正な利用

- ・状態把握、河川の安全な利用

(5) 河川環境の維持管理対策

- ・自然環境の状態把握
- ・生物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- ・良好な水質の保全

(6) 水防等のための対策

- ・資機材の備蓄・確保、水防連絡会の開催
- ・水質事故対策

対策の必要性を判断